

第2回 企業の先進 事例に学ぶ



SDGs（持続可能な開発目標）は、地球環境を守り、貧困を克服して全ての人が平和と豊かさを享受できるような世界を目指す目標で、国連で採択されて3年が経過し、国内でも関心が高まっており、ビジネスの世界でも「共通言語」となりつつあります。

企業が取り組む目的はどこにあるのでしょうか。新たなビジネスチャンス、今後の取引条件になる可能性、社会課題への対応、企業イメージの向上などいろいろな側面があるようです。今回の講座では、すでに取り組みを始められている3社の先進事例から学びます。

日時 11月28日(水)
15時～17時

会場：四日市商工会議所1階 会議所ホール

定員：70名

【発表企業、発表者プロフィール】

①
コマニー株式会社
石川県小松市本社のパーティショントップメーカー

常務執行役員 塚本 直之 氏
大学卒業後、スタンレー電気(株)勤務を経て、2007年入社。2018年より現職。コマニー(株)では、SDGsの考えが、会社の「経営の理念」を実現することとつながっていると考え、2018年4月「コマニーSDGs宣言」を行ない、「コマニーSDGs∞（メビウス）モデル」を採択。これまでモノづくりを通じて培ってきた「技術」を軸に、事業活動を通じて社会課題を解決することに取り組んでいる。

②
株式会社マルワ
名古屋市本社の総合企画から印刷までを行う企業。1958年の創業。

社長 鳥原 久資 氏
創業の年に生まれた二代目社長。(株)マルワの事業活動は印刷業という枠にとらわれない多様な活動を展開し、CSR活動にも早くから取り組んでいる。2017年度からは、それらの取り組みをSDGsと関連付けて発信している。「人がつどい社会に発信する会社、地域に愛される総合企画・印刷屋」をモットーに会社を経営。

③
ユニー株式会社
東海地方を中心に住む人ならだれもが知っている総合スーパー。近鉄四日市駅前にはアピタ店がある。

顧問 百瀬 則子 氏
1980年に入社以来、主に環境分野を担当。2003年には環境部長、2017年度には、上席執行役員CSR部長を務め、2018年から現職。ユニー(株)では、特にSDGsの目標12（つくる責任つかう責任）を従来からの取り組みそのものとなし重視。中でも、「12.3 食品を廃棄しない」「3Rの推進」については、消費生活が地球の持続性に大きな役割を果たす課題と述べている。

我が社の取り組みをSDGsの視点から見る

地元の意欲ある企業を対象に、それぞれがどのような取り組みを目指すのがよいか考えるワークショップを行います。

会場：四日市商工会議所3階 中会議室

定員：40名

会場アクセス

- 近鉄四日市駅
あすなろう四日市駅
→中央通りを東へ徒歩10分
- JR四日市駅
→中央通りを西へ徒歩10分
- 市役所前バス停
(三重交通バス・三岐バス)
→徒歩1分
- 市役所隣の
市営駐車場が利用できます



申し込み

対象者：市内に通勤する人または、SDGsを活用した環境経営に関心のある人。

受講申込：下記宛先へメール、ファックス、または環境保全課（市役所5階）に直接下記内容を記入の上、お申し込みください。

しめきり：先着順で受け付け。各講座前日必着。

※定員オーバーで参加いただけない場合のみ連絡致します

「第2回、第3回」 申込書 ※第1回は終了しました。

参加希望回 (○をふる)	第1回 (10/30) SDGsと企業の環境経営	第2回 (11/28) 企業の先進事例に学ぶ	第3回 (12/12) 我が社の取り組みを SDGsの視点から見る
所属	氏名		
電話番号 E-mail			

申込み 四日市市役所 環境保全課 〒510-8601 三重県四日市市諏訪町1番5号

【TEL】059-354-8188 【FAX】059-354-4412 【E-mail】kankyuhozen@city.yokkaichi.mie.jp

運営 環境教育ネクストステップ研究会